

資料番号

3

令和5年6月30日

課名 商工労働局

コロナ機動的経済支援プロジェクトチーム

担当者 担当課長 三牧

内線 3460

広島県経済の動向

令和5年6月30日

商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	5
1	百貨店・スーパー	
2	飲食	
3	観光	
IV	中小企業の動向	7
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	9
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	10
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況(全国・県内)	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	3月	4月	5月
基調判断	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している		景気は、緩やかに回復している
輸出	弱含んでいる		底堅い動きとなっている
生産	このところ弱含んでいる		持ち直しの兆しがみられる
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	持ち直している		
個人消費	緩やかに持ち直している		持ち直している
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている		

(2) 先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和5年5月25日公表)】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	3月	4月	5月
基調判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	
輸出	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある		
生産	持ち直しのペースが鈍化している		
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	持ち直している	緩やかに回復している	
住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、物価動向や供給制約、海外経済の動向などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和5年6月7日公表）】

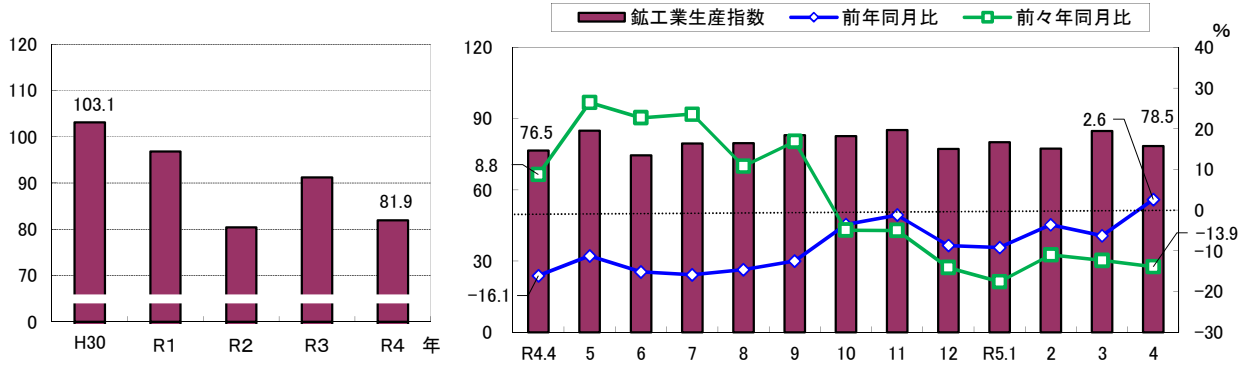
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和5年4月)

4月の鉱工業生産指数(鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年=100)は78.5で、前年同月比で2.6%増加、前々年同月比で13.9%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

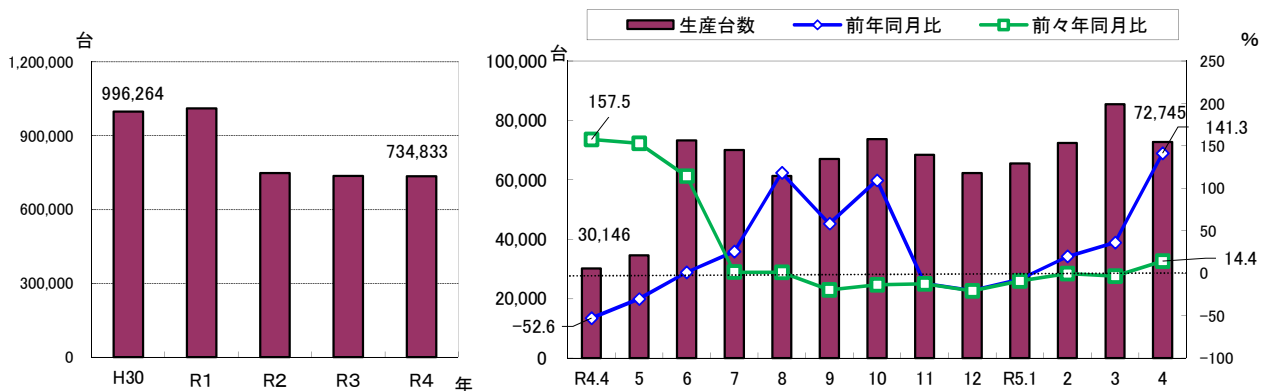


2 自動車(令和5年4月)

4月の国内生産台数は72,745台で、前年同月比で141.3%増加、前々年同月比14.4%増加となっている。

自動車生産台数(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

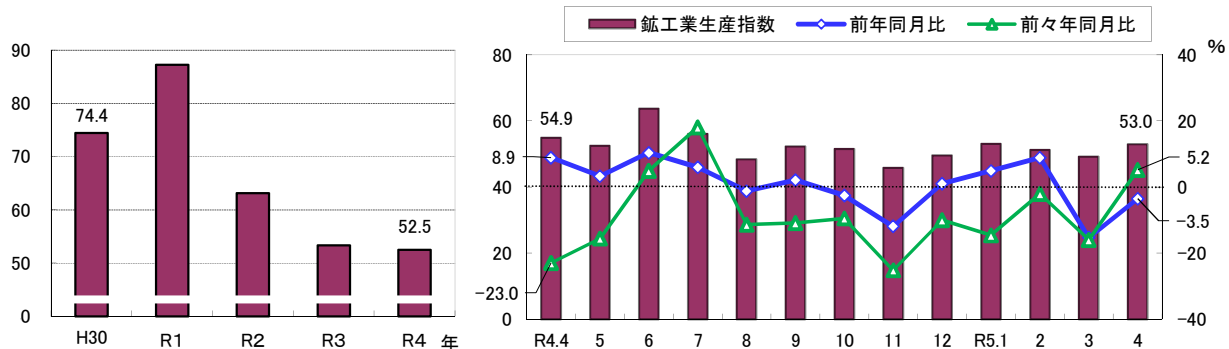


3 造船(令和5年4月)

4月の鉱工業生産指数(造船部門、原指数、速報値、平成27年=100)は53.0で、前年同月比で3.5%減少、前々年同月比で5.2%増加となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

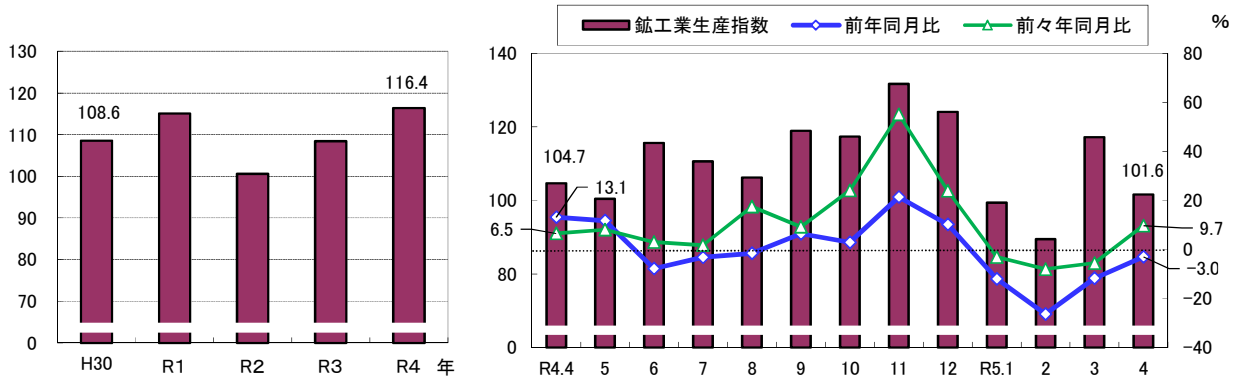


4 一般機械(令和5年4月)

4月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は101.6で、前年同月比で3.0%減少、前々年同月比で9.7%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

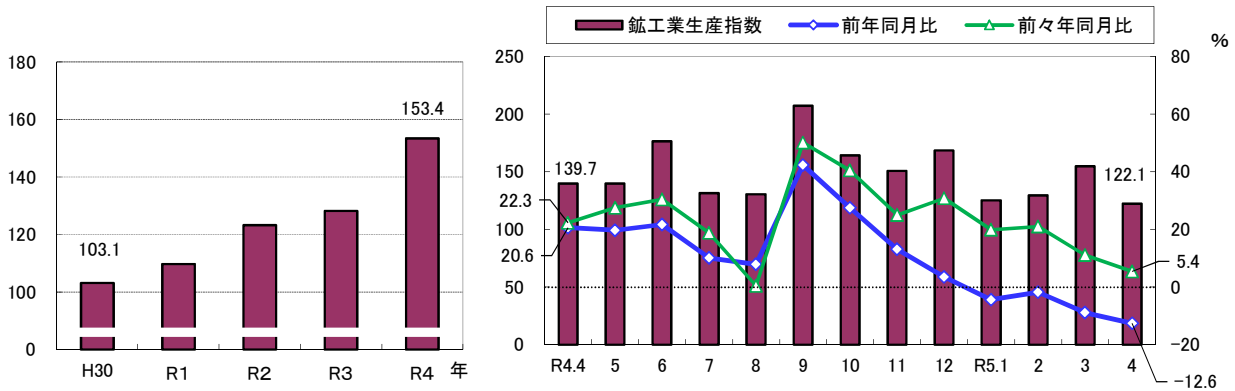


5 電気機械(令和5年4月)

4月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は122.1で、前年同月比で12.6%減少、前々年同月比で5.4%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



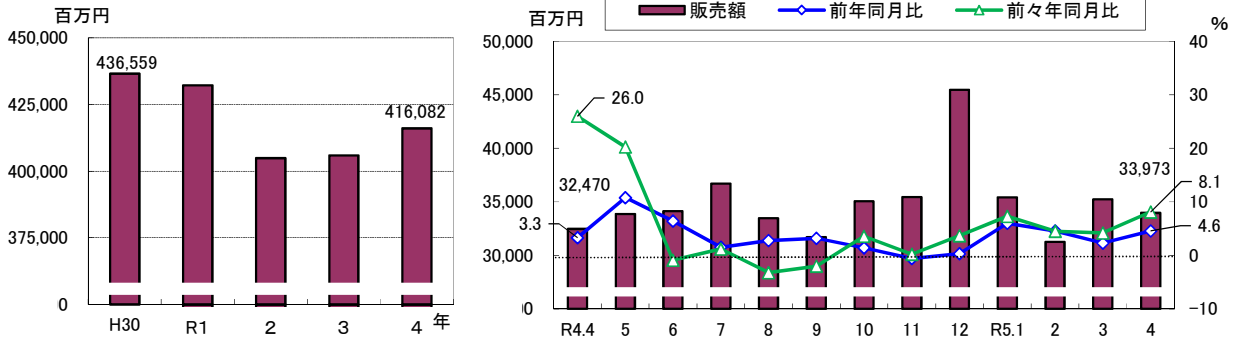
Ⅲ 県内小売業等の動向

1 百貨店・スーパー(令和5年4月)

広島県の4月の販売額は、33,973百万円(速報値)で全店舗前年同月比で4.6%増加、前々年同月比8.1%増加となっている。

【中国経済産業局】

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)



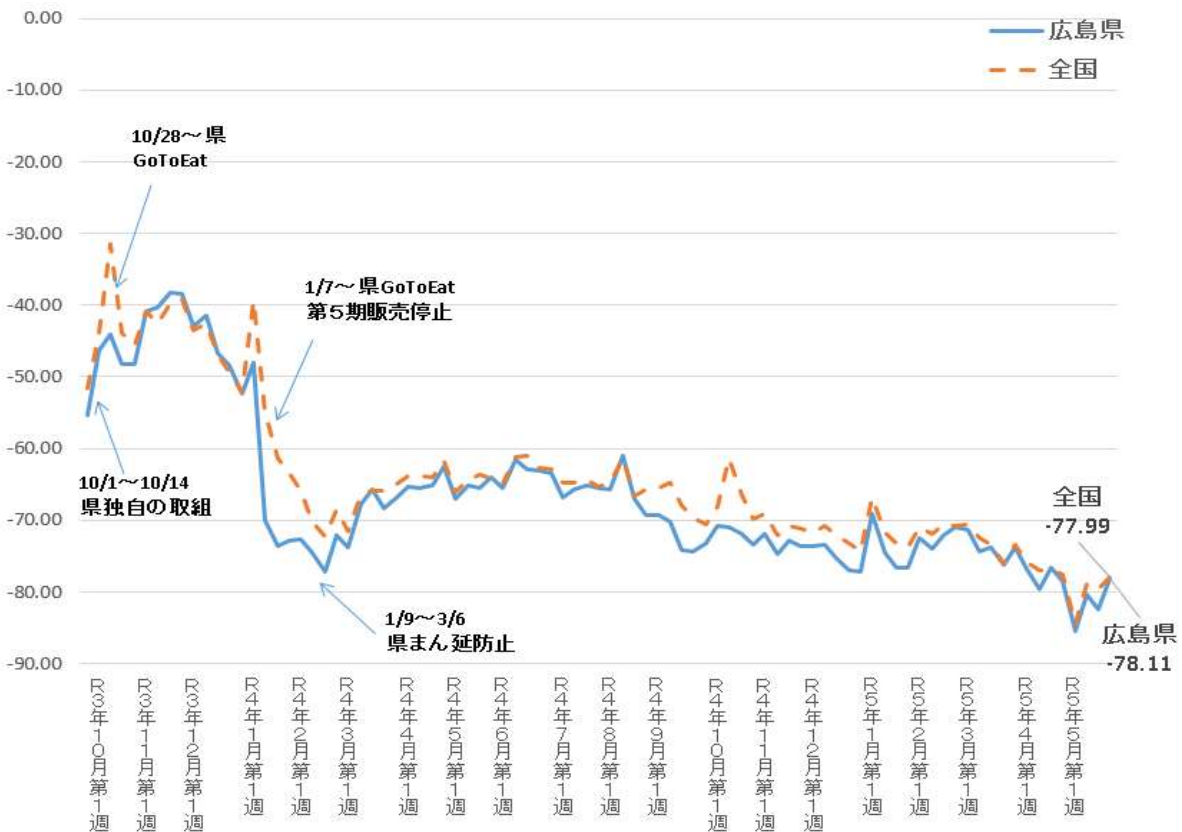
2 飲食(令和5年5月)

広島県の5月第4週の大手飲食店情報サイト閲覧数の令和元年同週比は、78.11%減少となっている。

〔内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局と内閣府地方創生推進室 V-RESAS (Retty株式会社 Food Data Platformより提供)〕

飲食店情報の閲覧数(広島県)(平成31年・令和元年同週比)

(データ更新日:令和5年6月8日)



3 観光

(1) 宿泊客数(令和5年3月)

直近の数値である、令和5年3月の宿泊者数は、96.1万人で、前年同月と比べ32万人泊増(+50%)で、コロナ前の令和元年同月と比べて9割以上まで回復した。また、外国人宿泊者数も3月は9.0万人で、コロナ前の令和元年同月と比べて8割弱まで回復した。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(単位: 万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-3月計	
広島県	宿泊者数	70.4	68.3	96.1	発表前									234.8	
	R4年宿泊者数	51.9	41.0	64.1	70.5	73.9	60.6	74.6	85.9	70.8	81.1	89.0	80.5	157.0	
	R4年比	136%	166%	150%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150%	
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	253.4	
	R元年比	95%	89%	94%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	93%	
全国	宿泊者数	3,949	4,114	5,068	発表前									13,131	
	R4年比	139%	177%	151%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	154%	
外国人	広島県	外国人宿泊者数	3.2	3.2	9.0	発表前									15.4
		R元年宿泊者数	7.0	6.2	11.6	18.1	12.5	9.8	12.7	10.5	9.3	16.5	10.6	7.4	24.8
		R元年比	47%	51%	77%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62%
	全国	外国人宿泊者数	606	593	755	発表前									1,954
		R元年比	66%	64%	79%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70%

※R4年およびR5年は宿泊旅行統計調査の速報値で、R元年は、確定値を反映。

R4年の宿泊者数は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

(2) 県内主要観光施設の観光客数(令和5年4月)

2月～4月は、春の旅行シーズンであることや「全国旅行支援」の活用などにより、R元年同期水準を上回る施設が複数あるなど、回復基調にある。

【各観光施設からの聞取調査】

(単位: 人)

観光施設	R元年			R4年			R5年			
	2月	3月	4月	2月	3月	4月	2月	3月	4月	
広島平和記念資料館	61,240	128,610	180,830	0	45,329	46,981	67,951	149,293	162,802	
	R元年比	—	—	—	—	35%	26%	111%	116%	90%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	皆増	329%	347%
宮島来島者数	263,324	420,780	491,455	85,724	206,286	202,200	269,333	463,036	384,026	
	R元年比	—	—	—	33%	49%	41%	102%	110%	78%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	314%	224%	190%
大和ミュージアム	50,317	77,507	80,697	3,647	32,197	37,521	38,700	70,662	52,925	
	R元年比	—	—	—	7%	42%	46%	77%	91%	66%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	1061%	219%	141%
道の駅たけはら	12,168	16,228	16,583	8,403	11,438	11,748	9,159	12,822	11,454	
	R元年比	—	—	—	69%	70%	71%	75%	79%	69%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	109%	112%	97%
神楽門前湯治村(定期公演)	1,257	1,662	2,682	0	0	1,823	1,297	1,574	1,833	
	R元年比	—	—	—	0%	0%	68%	103%	95%	68%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	皆増	皆増	101%
千光寺ロープウェイ	26,607	51,124	65,850	11,722	36,594	49,293	30,847	63,275	49,869	
	R元年比	—	—	—	44%	72%	75%	116%	124%	76%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	263%	173%	101%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	2,238	3,606	1,450	772	1,883	1,210	2,186	3,006	1,415	
	R元年比	—	—	—	34%	52%	83%	98%	83%	98%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	283%	160%	117%
国営備北丘陵公園(千人)	8	19	46	8	23	42	11	26	41	
	R元年比	—	—	—	100%	120%	92%	131%	132%	90%
	R4年比	—	—	—	—	—	—	131%	109%	97%

IV 中小企業の動向(令和5年5月)

【広島県中小企業団体中央会（令和5年6月15日時点）】

1 概況

広島県内の中小企業においては、依然として原材料、電気、燃料等の価格高騰が収益性を悪化させており、加えて人材不足や人件費の上昇も深刻な問題としてのしかかっており、先行きの見えない厳しい状況が続いている。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比+16.7%と8ヶ月連続で増加。マツダ車は+93.2%の大幅増加となった。

また、木材業界では、全国の令和5年4月の新設住宅着工戸数は67,250戸で前年同月比▲11.9%。広島県内の着工戸数は1,309戸で、対前年同月比▲31.0%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「4月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は4月分のデータを掲載

2 景況感・景況感の変化

業種	4月の景況感	5月の景況感
食料品	普通	普通
繊維・衣服	普通	普通
木材	悪い	悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	普通
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	普通
金属製品	普通	普通

業種	4月の景況感	5月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	普通	普通
自動車部品	普通	普通
造船	普通	やや好況
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	4月	5月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	1	1
普通	10	9	▲1
やや悪い	8	8	0
悪い	2	2	0

3 前月(4月)から変化のあった主な業種

業種	4月の景況感	5月の景況感	変化の理由・状況
プラスチック製品	普通	やや悪い	<p>・ 諸材料・電気代の高騰分を、価格転嫁に反映することができず、事業採算を大きく圧迫している。</p> <p>【広島県プラスチック工業会】</p>
造船	普通	やや好況	<p>・ 県内、2,500総トン以上の令和5年4月の船舶建造許可実績は5隻、157,740総トンであった。(前月3隻86,250総トン。前年同月4隻87,350総トン) なお、内訳は輸出船が5隻で、貨物船であった。</p> <p>【中国地区造船協議会】</p>

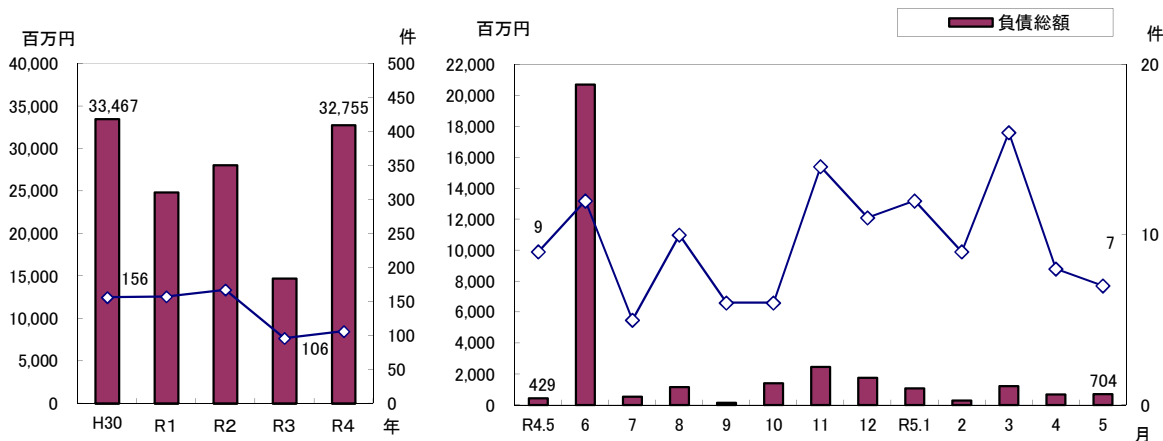
V 企業倒産状況(令和5年5月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が7件、総額7億400万円であった。
- ・前月比で件数は1件減少し、負債総額は1,500万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は2件減少し、負債総額は2億7,500万円増加した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)の発生はなかった。

区 分	令和5年3月	令和5年4月	令和5年5月
件 数 (前年同月比)	16件 (45.5%増)	8件 (20.0%減)	7件 (22.2%減)
負債総額 (前年同月比)	1,216百万円 (10.1%減)	689百万円 (54.8%減)	704百万円 (64.1%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、建設業が3件、卸・小売・飲食業、サービス業が各2件となった。
負債総額では、建設業、サービス業、卸・小売・飲食業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が6件、既往のシワ寄せが1件であった。

4 今後の見通し

令和5年5月度の倒産件数は7件となり、令和5年3月度まで前年同月比では5ヵ月連続の増加だったが、令和5年4月以降、2ヵ月連続で倒産件数は減少した。

業歴別倒産状況では30年以上が2件、20年以上30年未満が2件、10年以上20年未満が2件と業歴10年以上の倒産が全体の85.7%を占め、前月4月度では業歴10年以上の倒産が全体の100.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が6件で最多となり、既往のシワ寄せが1件で、売掛金回収難は無かったが、これらを合計した不況型倒産は7件で全体の100.0%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は5月度7件中5件発生し、これまでの累計は135件(負債総額1,000万円以上)となり、倒産に占める新型コロナウイルス関連倒産の割合は高まりつつある。

令和5年4月度、令和5年5月度と倒産件数は前年同月比を下回っているが、1,000万円未満の倒産は4月度5件、5月度7件と小規模に偏った件数となった。

広島県では令和5年5月19日より第49回先進国首脳会議(通称：G7広島サミット)が行われ、900億円程度の経済効果が期待される他、コロナ禍で中止していた野外イベントが再開されるなど景気回復が見込まれる。

しかし、業績に寄与する業界は特定の分野に制限され、相次ぐ原材料や燃料費の価格高騰の負担が生じる業界については先行きの見通しは楽観視できない状況にある。全国の倒産については令和5年4月時点で13ヵ月連続で前年同月の件数を上回り、「物価高」倒産が前年同月比で2.3倍に増加するなど予断は許されない。特に経営体力が脆弱な中小・零細企業の動向に注意が怠れない。企業倒産は当面、業績回復が遅れ、コロナ禍の支援依存から抜け出せない企業を中心に、夏場に向けて増勢を強める可能性が高まっている。

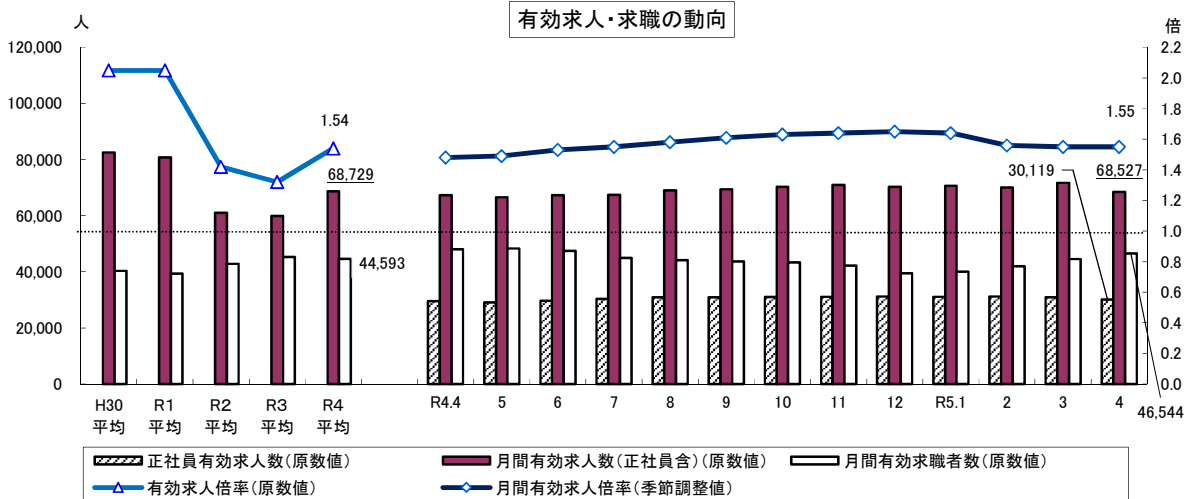
【(株)東京商工リサーチ(6月6日時点)】

VI 最近の雇用失業情勢(令和5年4月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.56倍 (▲ 0.08ポイント)	1.55倍 (▲ 0.01ポイント)	1.55倍 (+0.00ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.24倍 (+0.07ポイント)	1.16倍 (+0.05ポイント)	1.11倍 (+0.05ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

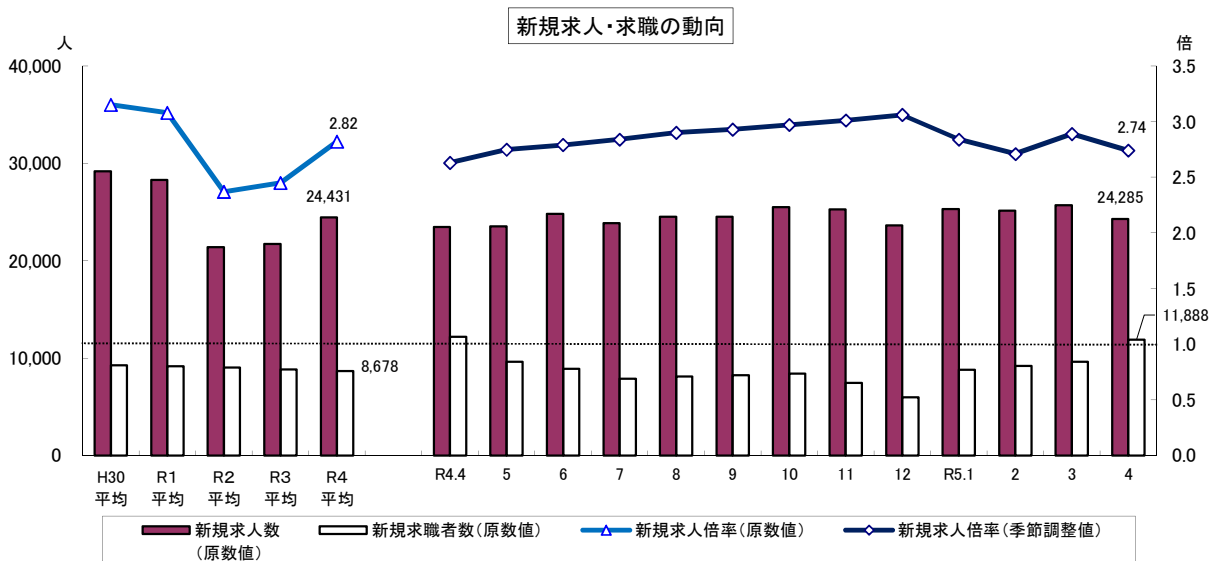
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.71倍 (▲ 0.13ポイント)	2.89倍 (+0.18ポイント)	2.74倍 (▲ 0.15ポイント)

【広島労働局】

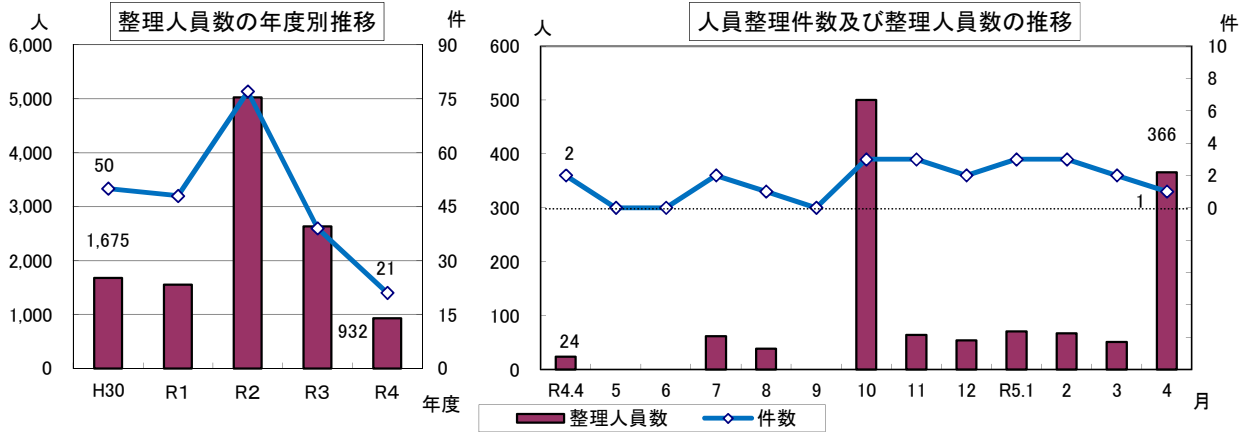


(注) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
件数 (前年同月比)	3件 (▲ 2件)	2件 (▲ 1件)	1件 (▲ 1件)
整理人員 (前年同月比)	67人 (▲ 56人)	51人 (▲ 170人)	366人 (+ 342人)

【広島労働局】

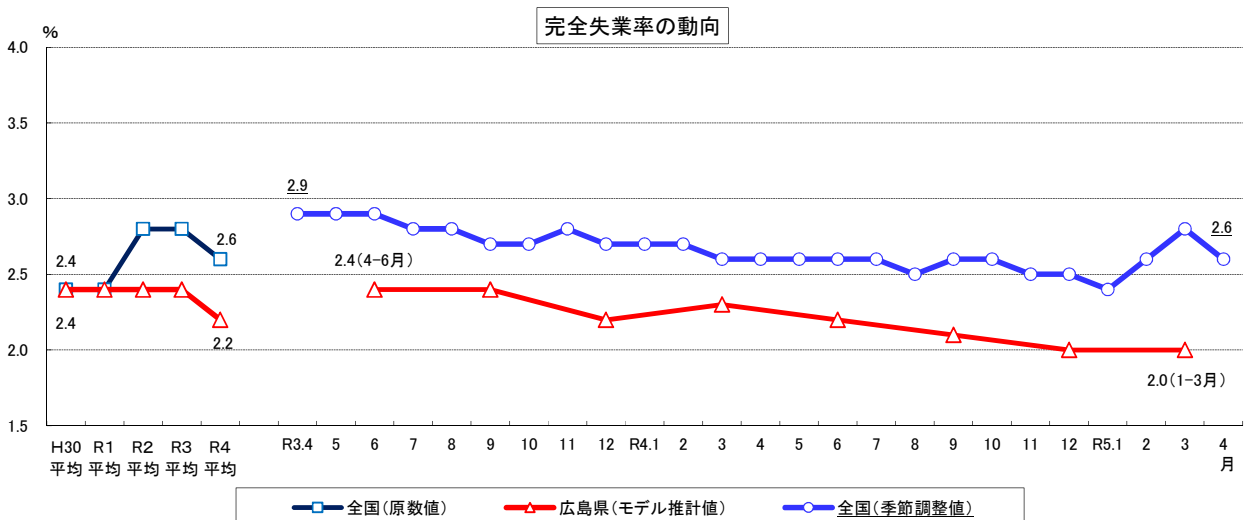


4 完全失業率の状況

区 分	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月
全国完全失業者数 (前年同月比)	174万人 (▲ 6万人)	193万人 (+ 13万人)	190万人 (+ 2万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.6% (+0.2ポイント)	2.8% (+0.2ポイント)	2.6% (▲ 0.2ポイント)

区 分	令和4年		令和5年
	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.1% (▲0.3ポイント)	2.0% (▲0.2ポイント)	2.0% (▲0.3ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。